



暑い中での草刈から田の整備、コートネットの設置、テント設置と、多くのボランティアの皆さんや地元実行委員会のメンバーの協力を得て、大会は大盛況のうちに終えることが出来ました。当日は大沢中学生もボランティアで参加しました。関わっていただいた全てのスタッフの方々に感謝いたします。大沢のよさをアピールする機会ともなりました。ありがとうございました。
(だろんこバレーボール実行委員会)

光山だより

8月号
発行

大沢ふれあいのまちづくり
協議会広報部

<http://www.ozo.jp>

8月3日(水)大沢松寿会の皆さんと一緒に“そうめん流し”をしました。



8月18日(木)のびのび農園で“親子デイキャンプ”をしました。



児童館だより



絵：仲池君代

御存知ですよね AED のこと
夜間でも連絡所屋外に設置されているAEDを使うことができます。
緊急の場合迷わずに！

のびのびふれあい協力お礼
今年延130人の元気な子ども達の笑顔に出会うことができました。10回の開催は子ども達にとっても、少し物足りないかもかもしれません。プール指導員の皆様には酷暑の中、ご協力いただきました。誠に有難うございました。引き続き来年も開催出来そうです。引き続きご支援いただきたくお願い申し上げます。
申西晴美

暑い中での草刈から田の整備、コートネットの設置、テント設置と、多くのボランティアの皆さんや地元実行委員会のメンバーの協力を得て、大会は大盛況のうちに終えることが出来ました。当日は大沢中学生もボランティアで参加しました。関わっていただいた全てのスタッフの方々に感謝いたします。大沢のよさをアピールする機会ともなりました。ありがとうございました。
(だろんこバレーボール実行委員会)

消防操法大会
8月7日三木市の県消防学校において、第26回兵庫県消防操法大会が開催されました。神戸市の消防団を代表して、北消防団大沢支団より2チームが出場し、県下8地区より選ばれた11チームによる熱い戦いとなり、今年は今までにない高レベルの戦いで、いずれも甲乙つけがたいような競技でしたが、Aチームが第3位に入賞、Bチームは6位と健闘しました。選手は優勝を目標に、足掛け11か月100回以上の訓練を重ねてきましたが、その成果を十分発揮し、悔いのない競技が出来たことと思います。大沢の粘り本番に強い根性が発揮され、入賞出来



ました。神戸市の消防団の中において、大沢支団の名前をアピールできたことは、我々消防団のみならず、町民の士気を高めることにもなったものと思います。このように選手が頑張れたのは、一番にご家族の皆さんのご理解とご支援のお蔭と感謝申し上げます。そして、訓練を指導いただいた消防職員、後方支援をいただいた消防団員、訓練中や大会当日に応援に来ていただいた町民の皆さんほか、大勢の方々に支えられて、これだけの成果が発揮できたものと確信しております。大沢支団はこの経験を

もとに、より一層団結し、大沢町の防災の要として頑張っていきたいと思います。
大沢支団・小西元八
お知らせ
大沢の里ふれあい運動会
9月24日(土) 9:00
神戸市立大沢校グラウンド
皆揃って参加、応援よろしくお願いします！

スポーツ情報
8/20 ふれあいボウリング大会
エリアデ 三田ボウリングC
優勝 中大沢 小池光雄さん
準優勝 上大沢 大家重明さん
第三位 日西原 西浦玉喜さん

夏の蚊対策
皆さんは「ジカ熱」という感染症を聞いたことがあると思います。原因はジカウイルスを持った蚊に刺されることによって感染します。①蚊の発生を防ぐ 住まいの周囲などの水溜りをなくす
②蚊に刺されないように防除する 屋外作業時、長袖・長ズボンを着用、虫除け剤等を使用



健康コラム
俳句
終戦忌ああ日本に吾老いぬ
地藏金嫁ぎし娘の名の提灯も
ひぐらしの鳴きてにぎやかわが山家
緑る数珠の老いには重き地藏金
乳母車の子の手に蜻蛉止まりけり
黄昏の水辺明るし赤とんぼ
通り雨人散らばりぬ地藏金

町民の動き
おめでた
4/18日西原 西本恵昭さん
古山園子さんと
おくやみ
7/26 簾 安井和子さん88歳

行事予定
9/1 やまびこ会定例会
9/5 光山だより編集委員会
9/6 J A女性会運動会
9/8 ふれあい昼食会
9/9 体協運動会打合せ
9/11 防災福祉コミュニティ訓練
9/12 婦人会定例役員会
9/15 自治連合会役員会
9/21 地域事務局PJ長会議
資源集団回収



行事予定
昭
三恵子
たみる
ちが
正子
純子
弘枝



プロジェクト長会議

9月21日(水)今年度2度目の会議が開催されます。関係各位の出席をよろしくお願いいたします。また、今年度から新たに「生物多様性プロジェクト」を設定し、生物多様性における環境保全を主体とした、豊かな自然と共存する町としての活動が始まります。

学校園PJ

8月23日(水)に開催された会議においては、近隣小学校のPTAによる保護者アンケート結果をもとに、大沢町としての今後の取り組み体制指針や教育委員会等への働きかけの重要性についてなど、出席者間において意思統一が出来たと思えます。



大沢町の自然と共存する会

8月22日(月)に表題の集まりを行い、今後、大沢町地域事務局内に「生物多様性プロジェクト」を立ち上げて、絶滅危惧種とされ

ている動植物の保全を主体とした、生物多様性における環境保全として活動していくことになりました。プロジェクト長には、大沢町のブランド米「おぞうそだち」の生産拡大に取り組んでいただいております池鍋充泰さんをお願いすることになりました。

今後は、大学をはじめとした学識経験者や行政関係機関とも連携しながら、長期的な目線において無理のない活動計画を進めてまいりる所存です。看板設置などの初期費用については、現在申請中の「パートナーシップ活動助成」を予定しており、9月10日に開催される「公開企画審査会」において高評価を得られるように準備しております。

おいしい大沢PJ

有馬山椒の栽培規模拡大に取り組んできておりますが、今回は収穫後の木姿を確認するため、8月1日(月)に、和田山町の兵庫県立農林水産技術総合センター北部農業技術センターを視察しました。大沢有馬山椒部会員をはじめ、多くの皆様に参加いただきました有難うございました。



道の駅農産物 出荷者募集中

神戸フルーツ・フラワーパークは5月、道の駅に登録されました。現在は、商業施設の建設中です。JA兵庫六甲は、神戸市農業の発展を目的に、商業施設運営会社「株式会社北神地域振興」と共に、農産物直売所を運営します。出荷を希望の方は、募集概要をご確認の上、申し込み下さい。

＊出荷可能品目

野菜、果物、花、苗、米(不可) 加工品、漬物、お菓子、モチのみ

＊出荷条件 会員登録条件

- ①神戸地域の組合員である事
②農産物を自ら生産している事
③生産日誌を記載し、JAの安全安心講習会を受講している事
④原則として直売生産者協議会会員(JAの直売所出荷者)

＊会費

入会金三千元、年会費五千元
＊お問い合わせ窓口

神戸北宮農総合センター
981-5540 担当 谷

全国戦没者 追悼式に参列して



71回目の終戦の日を迎えた8月15日、東京の日本武道館で政府主催の全国戦没者追悼式が行われ、町内より大沢町遺族会代表北本義利氏、県遺族会青年部設立代表藤崎潤氏と私の3名が参列した。そこで感じたことを次に記す。

8月は「戦争の歴史を語り学ぶ時」と捉えがちである。戦場体験を持つ人やその当時の人が減っていく中、戦場の怖さ、雨のように降り道を流れる焼夷弾の怖さを継承することは難しい。体験を語る人は本当に苦しかったと思う。戦場経験を誰にも言わず自分の中で熟そうとした人もいた。長男の戦病死という経験をもつ私の祖父母も、聞こうとすると「つらい」と言っって目いっぱい涙を溜め多くは語ってくれなかった。私のように家族の涙を見てきた世代は、「戦争を歴史」と捉えるのではなく、与えられた教訓から何を受け継ぎ、何を学ぶべき

9月から 大沢乗合タクシー運行



今回、乗合いタクシー(9人乗り)を大沢町内とイオンを走らせる事になりました。隣の淡河町の昼食会・茶会等の町内イベント対応運行人気も考慮、今回の運行結果を合わせ、高齢化の進む大沢町に適した移動手段を協議します。是非ご利用下さい。

今回の特徴は、神姫バス停から半径250m以内の乗降とバス路線上の移動は不可との制約の中、メニューで激論をし、主として地道を走る事、朝昼夕はイオン定期便を走らせる事、午前と午後には皆さんが自由に使える注文運行時間帯を設ける事、配布資料の実線は定時走行で、点線は注文運行時間確保の為に予約運行とした事です。地道には停留所を28ヶ所、看板を立てさせて頂いてますが、地道で神姫バス停から250m離れていれば、停留所に遅れても手を挙げれば乗車できますので気軽にご利用下さい。又、イオンからは三宮・

乗合タクシー利用留意点

- 三田や各方面にバスが多数運行されておられるイオンと大沢町内を結ぶバス時刻表も添付、ご利用下さい。
今回、全戸に資料配布しました乗合いタクシー(9人乗り)のご利用留意点は左記のとおりです
1、全ての予約・注文(行事対応)は早い目に日本交通へ
2、運行経路の実線は定路線で点線は予約必要路線、但し、イオンからは乗車後、行先連絡で可
3、県道以外の地道では、神姫バス停から250m離れば停留所に遅れても手を上げて乗車可
4、定員オーバーで乗れない時は運転手と相談下さい
5、釣銭はいらぬ様、小銭を準備下さい
6、イオンの乗降場所は徒歩1分、2分の食堂街入口のタクシー乗り場です
7、フルーツパークの乗降場所はホテルのバス乗り場です
※その他不明点はやまびこ通信の問合せ先へ
榎本茂木

台風の怖さ 避難マップ作り

か「戦争の真の怖さ悲惨さとはどういうことなのか」と深く考え、71年たった今も真剣に向きあい、継承しなければならぬ。そういう世界にしていかなければならないと切に思う。平和と命の重みをかみしめる一日であった。 池鍋充泰)

台風や思わぬ豪雨で、各地域ごとにそれぞれ気をつけなければいけない箇所や危険箇所があると思います。それらをマップにおとして住民相互が確認し合う機会として、10月中旬にワークショップを開催します。今回は神戸市から派遣される防災士の方の助言をいただきます。日程は調整中ですが確定次第ご案内いたします。避難マップ作りには有意義に活用いただきたいと思えます。事前に地域毎に話し合う機会を設けていただければよりよいマップが作成できるはずです。当然高齢者の方や子どもたちの安全も絶対に確保しなければいけないことです。地域

パークで盆踊り賑わって

今年の盆踊りも大盛況のうちに終了しました。今年新しい輪(和)が広がったように思います。町民の皆様御協力有難うございました。

